

会 議 録		令和6年9月18日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府南丹警察署協議会（令和6年度第2回）		
開催日	令和6年9月13日（金曜日）		
時 間	午後3時から午後4時45分までの間（105分）		
場 所	京都府南丹警察署 講堂		
出席者	橋本会長、廣瀬副会長、山下委員、塩内委員、山内委員、畠中委員、春田委員、海野委員 （欠席 森委員） 計8人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長、交通課員 計11人		
諮 問 事 項	交通安全対策について		
会 議 内 容	1 署長挨拶	司会	副署長
	2 会長挨拶		
	3 協議	司会	会長
	(1) 諮問事項説明 交通安全対策について～交通課長 (交通事故発生状況と可搬式オービスの説明、危険予測トレーニング)		
	【委員】交通安全対策のための様々な取組みをしていることが分かり、頼もしく感じる。危険予測トレーニングを体験したが、運転時の注意点が見える形で分かるなど、非常に効果的なものであることが分かった。		
	【委員】交通死亡事故発生場所について説明を受けたが、私もよく利用する道路であり、見通しが良く、道路幅も広い道路形状であることを知っている。南丹署管内に限らず、交通事故が発生すると、なぜこのような場所で事故が起こるのかという話をよく耳にする。引き続き、道路形状等により交通事故は発生しないだろうという先入観を排して、運転者に訴求する効果的な広報や関係機関と連携した予防先制的な道路環境整備の推進をお願いする。		
	【委員】南丹市美山町内はツーリングのメッカとして、全国的に知れ渡って		

会 議
内 容

いる。私も自動車を運転中に、二輪車が自損転倒し運転者が滑走する状況を目撃したことがある。また、二輪運転者のマナーについても目に余るものがあると感じている。それは、観光名所「かやぶきの里」の前の道路脇に二輪車を駐車して、道路の中央付近で写真撮影をしている状況を目撃したことがある。さらに、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、外国人旅行者が増加している社会状況の中、レンタカーを借りて南丹市や京丹波町を訪問する外国人旅行者の交通マナーの悪さについても聞き及んだこともある。

南丹市と京丹波町を訪問する旅行者等に対して、交通法令の遵守や交通マナーをどのように広報しているのか。

【警察】警察官や赤色灯を搭載している警察車両には抑止力があり、自動車や二輪車の運転者、観光客が目にすることで、交通マナーだけでなく観光マナーといった面でも遵守が期待できるものと認められることから、見せる警察活動を推進している。

また、自動車や二輪車が集まる道の駅等において啓発チラシを配布して、交通法令遵守や交通マナーの意識向上を訴える広報啓発活動を実施している。

広報啓発活動というソフト面と合わせて、交通死亡事故現場において交通事故が起こらない道路環境の構築というハード面においても、看板設置等により視覚に訴える対策を自治体、国道事務所等の関係機関に申入れしている。

警察力だけでは到底管内の交通安全を実現できないことから、自治体、観光協会、そして地元住民等と連携して、地道に対策を推進していく。

【委員】自治体としても、交通安全社会の実現のために住民を交通指導員に委嘱して、通学路における見守り活動等を実施している。今後とも、交通指導員の意識向上と正しい交通法令の理解促進のために、定期的な講習の協力をお願いする。

【警察】警察としても、交通安全社会の実現のために、住民、自治体と連携して諸対策を推進していく。

【委員】自治体には、住民から、横断歩道の設置に関する要望等が寄せられるが、住民から警察に要望や苦情等が寄せられた場合に適切な対応をお願いする。

【警察】先般も、管内の区長会から交通道路環境整備に関して要望が寄せられた。警察に対する住民からの要望に関しては、調査の上で基準に従って適正に対応し、その対応結果についても迅速に説明回答を行って、理解を得ている。

会 議
内 容

【委員】路面標示が消えかけている状況を見ることもある。警察に情報提供があった場合には道路管理者と連携して、迅速な対応をお願いする。

【警察】道路環境に関して情報提供があった場合には、交通課において情報集約し、道路管理者等の関係機関や警察本部主管課に連絡するなどして適切に対応している。

【委員】例年、秋の行楽シーズンが始まり観光客の増加に伴って、違法駐車が増加していることから、一層の対策をお願いする。

【警察】交通違反取締りと共に、まずは警察官や赤色灯を搭載している警察車両による見せる活動により、違法駐車をさせない環境づくりを強化する。

【委員】高齢者に対する安全教育に関して説明を受けたが、先日、高齢者が運転する自動車が方向指示器を誤って点灯しており、交通事故を誘発しかねない状況を目撃した。ある一定地域の道路環境状況に関しても住民への注意喚起が必要なのではないか。

【警察】交番・駐在所が発行するミニ広報紙や老人会等の各種会合等においては地元に着した話題を提供しており、今後も、交通事故防止や犯罪被害防止等が住民に伝わりやすいよう身近な話題を提供して、住民の安全・安心を確保するための広報啓発に努める。

【委員】警察、住民、自治体等が情報を共有することにより、南丹市・京丹波町全体として交通事故防止だけでなく、犯罪被害防止といった面でも意識の向上が図られると考えるので、今後とも、住民に訴求するための繰り返しの各種情報発信をお願いする。

(2) その他

【委員】以前、ひまわりの絆プロジェクトに関する新聞記事を拝見した。新聞には、プロジェクトの趣旨、地元幼稚園の園児と一緒に行った種植えの記事や大輪を咲かせたひまわりの写真が掲載されていた。警察だけで取り組むのではなく、幼稚園という地域社会と一体となって取り組んだことが新聞に掲載され、犯罪被害者への理解が促進されたほか、交通安全に関する意識も向上し、官民一体となって南丹市・京丹波町の安全安心を実現していく気運が醸成されたと感じている。

引き続き、地域社会と一体となって住民に訴求する戦略的な取組を実施して効果的に広報することで、南丹署が住民に対して広報したい内容が浸透し、官民一体となって南丹市・京丹波町の安全安心が実現できる。

【委員】警察からの情報発信の重要性を認識し、引き続き、効果的な広報啓発活動等を推進していただきたい。

【警察】引き続き、交通事故防止だけでなく犯罪抑止の面も含めて、マスコ

会 議
内 容

ミ各社への報道提供、ミニ広報紙への掲載、府警公式Facebookや同YouTube チャンネルへの投稿等を通じて、あらゆる世代の住民に届く戦略的かつ効果的な情報発信を推進していく。

南丹署は、犯罪が発生した場合に注意喚起のための情報発信も行っているが、あわせて住民に安心感を持っていただくために、検挙情報についても積極的に情報発信を行っている。

南丹市と京丹波町の安全安心を実現するためには、住民に親しまれて、住民からの協力と支持を確保し、住民にとって力強く頼りがいのある警察活動を推進する必要があることから、引き続き、創意工夫を凝らした効果的な情報発信を推進していく。

今後も、住民に安全安心を実感してもらえる効果的な広報啓発活動や情報発信方法等について、地元に着し各地域の住民と接している委員からの意見提言をお願いします。

【警察】 本日の各委員からの意見については、今後の警察署業務の参考とさせていただきます。今後とも忌憚のない意見をお願いします。

4 事務連絡

次回の京都府南丹警察署協議会の開催日については、日程調整の上、連絡させていただきます。

以上

第2回京都府南丹警察署協議会開催状況

